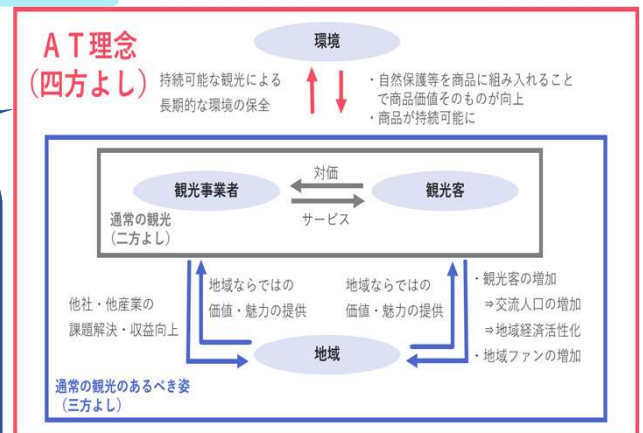


スポーツデータサイエンス&マネジメントラボ 連携先（カヌーパークOKAYAMA）

ラボの課題

アドベンチャートラベルを流行らせるためにはどうしたらいいか。

アドベンチャートラベル（AT）とは、自然の中でアクティビティや異文化体験を通じて自分の内面が変わっていくような新たな旅のスタイルです。



春学期の活動報告

私たちはカヤック体験を通じて、ATの経験価値について調査しました。7月15日に旭川にカヤック体験を行い、カヤックの漕ぎ方や魅力を教えて頂きました。

ACT（肉体的な経験価値とライフスタイルに関わる価値）
遊覧船と比べ、カヤックは体を動かしつつ、観光もできる。

RELATE（かかわる集団や文化の中での交流）
カヤック体験をしながら岡山城や日本特有の文化に触れられる。

THINK（創造的・認知的な経験価値）
一味違った視点から観光スポットがみれる特別性。

SENSE（感覚的な経験価値）
岡山城に加え、シーズンごとの自然が見渡せる。

FEEL（情緒的な経験価値）
大きな河川をカヤックで渡っているわくわく感



今後の計画・目標

アドベンチャートラベル（AT）をはやらせるための計画案。

- ・ATを含めた岡山観光プランを作る。
- ・ATの魅力を伝える映像を作成する。

アドベンチャートラベル商品を扱う旅行会社に岡山でのATの利点を提案する。

担当教員：氏名 林 恒宏 久永 啓

所属学生数 13人

ポスター制作：土居 晃大 船曳 結梨音 内田 樹希 藤井 聖己 比嘉 蓮 佐野 瑠亮 行部 伊武

スポーツデータサイエンス&マネジメントラボ (提携先：丸田産業株式会社)

ラボの課題

岡山市の観光における移動手段に「EVバイク・キックボード」を活用できるか研究・提案

春学期の活動報告

<行った取り組み>

ツーリズム講義

EVバイク試乗

試乗した結果
経験価値発掘



<観光におけるEVバイクの強み>

- ・小回りが効く為細道にあるお店にも行きやすい
- ・電動の為音が静かで景色を楽しむやすい
- ・走行中の風を肌で感じる爽快感
- ・移動中が唯の移動でなく、EVバイクの非日常感により移動自体が観光の一部になる

<EVバイクの弱み・改善点>

- ・座り心地の硬さに改善の余地あり
- ・ミラーの可動域が狭く背丈によっては見えづらい
- ・段差による跳ね方が少々強い

<EVバイクの使用方法提案>

- ・普段使いの他に島など信号の少ない場所で景色や自然を楽しむ旅行プラン
サーフィンやカヤックなどのオーシャンスポーツに夜はバーベキューなど島の景色や自然をモータースポーツ以外にも取り入れ地方を武器にした旅行プランは地域活性化にも役に立つ

今後の目標

EVバイクの認知度を上げる為の手段

1. 音が静かなので朝の新聞配達に取り入れるなどして、日常的に見かける環境を作る
2. マスメディア広告の有効利用
3. 乗り捨て利用方法の全国規模展開

担当教員：久永啓、林恒宏

所属学生 13名

ポスター制作：高見雄太 岡本翔地 桶屋海途 吉田智哉 鳥羽健太郎 大西祐成